

V 調査票

「秋田市しあわせづくり市民意識調査V」にご協力をお願いします

日頃から市政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、秋田市では、令和3年度にスタートした第14次秋田市総合計画「県都『あきた』創生プラン」のもと、元気な秋田市を次の世代に引き継ぐため、さまざまな取組を進めています。

総合計画は、本市が目指すべき将来の姿に向けた市政運営の指針であり、現計画の5年目となる来年度は、新しい総合計画を策定する年にあたります。

今回ご協力をお願いする「秋田市しあわせづくり市民意識調査V」は、新しい総合計画を策定するためのアンケートとして、「住みごこち」「秋田市の施策」「人口減少社会」などについて、市民のみなさまのご意見を伺うものです。

ご多忙のところお手数をお掛けしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和6年8月
秋田市長 穂積 志



<回答方法>

以下のいずれかの方法により回答してください。

(1) 郵送による回答

調査票に回答を記入の上、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、住所や氏名は記入せず、**9月17日(火)まで**にポストへ投函してください。

※返信用封筒の宛先は、秋田市が調査を委託した「株式会社東京商工リサーチ」となっております。

(2) インターネットによる回答

下記URL、もしくは右のQRコードより回答用サイトにアクセスいただき、下記IDおよびパスワードを入力の上、**9月17日(火)まで**に回答してください(回答は1人1回)。

| | |
|-------|---|
| URL | https://www.c-pass.jp/akitashimin2024 |
| ID | |
| パスワード | |



※IDおよびパスワードは重複回答を防ぐためのもので、個人が特定されることはありません

<特記事項>

- 市内在住の15歳以上のかたから無作為に3千人を選び、調査票をお送りしています。
- 回答内容について個人が特定されることはなく、すべて統計的に処理します。また、総合計画の策定や推進以外の目的には一切使用しません。
- 調査には、封筒のあて名のご本人が回答してください。
※ご本人が何らかの事情により回答不能である場合、回答いただく必要はございませんので、封筒及び調査票は破棄してください。
- ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

(お問い合わせ先)

秋田市企画財政部企画調整課

直通電話：018-888-5462 (受付日時：平日の8時30分から17時15分まで)

FAX：018-888-5488

E-mail：ro-plmn@city.akita.lg.jp

住みごちについて

問 1 あなたは、秋田市の住みごちをどのように感じていますか。次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

- 1 住みやすい
- 2 どちらかといえば住みやすい
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば住みにくい
- 5 住みにくい

問 2 あなたは、秋田市に住んでいて次のことをどのように感じていますか。各項目について、当てはまるものに○をつけてください。

| 項 目 | よ い | い え ば よ い | ど ち ら か と | ふ つ う | い え ば 悪 い | 悪 い |
|---------------------------------|--------|-----------------------|-----------------------|-------------|-----------------------|--------|
| 1 道路の整備状況は | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 2 まちのにぎわいは | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 3 公園や緑地、街路樹など緑の豊かさは | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 4 まちなみなどの景観は | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 5 観光地としての魅力は | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 6 産業や雇用の状況は | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 7 経済・学术交流などの国際化の進みぐあいは | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 8 大雨、地震など自然災害への安全性は | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 9 防犯への取り組みは | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 10 バス、電車などの利用しやすさは | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 11 冬期の除雪は | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 12 買い物のしやすさは | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 13 食の安全・安心は | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 14 高齢者・障がい者の生活のしやすさは | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 15 子どもの育てやすさは | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 16 病院などの医療機関の利用しやすさは | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 17 健康診断や予防接種などの受けやすさは | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 18 ごみの収集・処理やリサイクルへの取り組みは | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 19 環境保全への取り組みは | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 20 町内会など自治活動の状況は | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 21 NPO・ボランティア活動など市民活動のしやすさは | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 22 レジャー・娯楽などレクリエーションのしやすさは | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 23 各種講座やサークルなど生涯学習のしやすさは | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 24 スポーツ活動のしやすさは | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 25 文化・芸術活動のしやすさは | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 26 女性の社会参加のしやすさは | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 27 高齢者の社会参加のしやすさは | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 28 市民の市政参加のしやすさは | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 29 市役所の窓口サービスは | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 30 広報あきた・市政テレビ・SNS など市政情報の得やすさは | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 31 ホームページの使いやすさ・見やすさは | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |

秋田市の施策について

問3 秋田市の施策について

① 秋田市の行っていることの中で、あなたはどのような分野に力を入れて欲しいと思いますか。次の中から5つまで選び、番号に○をつけてください。

- 1 道路交通網の整備
- 2 バス路線の維持
- 3 冬期の除雪
- 4 中心市街地のにぎわい創出
- 5 公営住宅の供給
- 6 上水道、下水道の整備
- 7 美しい景観づくり
- 8 公園整備や緑化の推進
- 9 環境保全対策
- 10 ごみ処理やリサイクル対策
- 11 デジタル技術の導入・普及
- 12 商工業の振興や地元経済の活性化
- 13 雇用対策
- 14 観光振興
- 15 移住の促進や関係人口の創出・拡大
- 16 農林水産業の振興
- 17 高齢者福祉
- 18 障がい者福祉
- 19 子育て支援
- 20 乳幼児医療・児童福祉
- 21 健康づくり・医療・保健衛生
- 22 防犯対策
- 23 防災対策
- 24 消費者トラブル対策
- 25 小・中学校の教育環境整備
- 26 大学など高等教育環境の整備
- 27 生涯学習環境の整備
- 28 青少年の健全育成
- 29 スポーツ振興
- 30 芸術・文化振興
- 31 住民自治やコミュニティの振興
- 32 NPO・ボランティア活動などの市民活動促進
- 33 男女共生・女性活躍の推進
- 34 高齢者の社会参加の促進
- 35 家族・地域の絆づくりの推進
- 36 市民への広報、広聴の充実
- 37 その他 ()

② ①で選んだ中で、あなたが、一番、力を入れて欲しいと思うものはどれですか。1つを選び番号を記入してください。

(番号記入欄)

創生戦略事業について

問4 創生戦略事業について

秋田市では、令和3年度から令和7年度までの総合計画「県都『あきた』創生プラン」の中で、特に力を入れていく5つの分野を「創生戦略」と位置づけ、予算を重点的に配分するなど、元気な秋田市の実現を目指して取り組んでいます。この創生戦略事業についておたずねします。

※各創生戦略の内容については、4ページ下段～5ページの「5つの創生戦略とその取組について」を参照してください。

- ① あなたは、次の5つの創生戦略について、重要度が高いと思いますか。各戦略について、当てはまるものに○をつけてください。

| 創生戦略の名称 | 高い | どちらかといえば高い | neither 高い nor 低い | どちらかといえば低い | 低い | わからない |
|-----------------------------|----|------------|-------------------|------------|----|-------|
| 戦略1 先端技術を活用した地域産業の振興としごとづくり | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 戦略2 芸術文化・スポーツ・観光による都市の魅力向上 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 戦略3 未来につなぐ環境立市あきたの推進 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 戦略4 子どもを生き育てやすい社会づくり | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 戦略5 いきいきと暮らせる健康長寿社会づくり | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |

- ② 創生戦略に対する市の取組は、満足できるものですか。各戦略について、当てはまるものに○をつけてください。

| 創生戦略の名称 | 満足 | どちらかといえば満足 | neither 満足 nor 不満 | どちらかといえば不満 | 不満 | わからない |
|-----------------------------|----|------------|-------------------|------------|----|-------|
| 戦略1 先端技術を活用した地域産業の振興としごとづくり | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 戦略2 芸術文化・スポーツ・観光による都市の魅力向上 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 戦略3 未来につなぐ環境立市あきたの推進 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 戦略4 子どもを生き育てやすい社会づくり | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 戦略5 いきいきと暮らせる健康長寿社会づくり | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |

～5つの創生戦略とその取組について～

回答の際の参考にしてください。

【戦略1 先端技術を活用した地域産業の振興としごとづくり】

市内企業の事業拡大等への支援や企業誘致の推進、農業経営安定化の促進等により地域産業の振興を図り、経済活動の活性化と雇用の拡大・質の向上を進めようとするものです。また、先端技術を活用し、産業分野と観光、防災などの分野との一体的な展開による地域課題の解決を目指すものです。

| | |
|------|---|
| 主な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・新分野進出や事業拡大などに取り組む地元企業の支援 ・ICT分野の先端企業や再生可能エネルギー関連などの企業誘致の推進 ・空き店舗への出店補助・融資あっせん等による中心市街地や商店街の振興 ・6次産業化の支援や周辺自治体と連携した地場製品の活用促進 ・新規就農者育成や園芸作物の生産拡大 ・就職や賃金向上を目指す労働者の資格取得への補助 |
|------|---|

【戦略2 芸術文化・スポーツ・観光による都市の魅力向上】

芸術文化、スポーツ、観光の視点から本市の魅力を引き続き磨き上げるとともに、新たな魅力の発掘にさらに力を注ぐことで、都市のイメージアップと交流人口の拡大を図ろうとするものです。

| | |
|------|--|
| 主な取組 | <ul style="list-style-type: none">・あきた芸術劇場ミルハスや秋田市文化創造館の整備など、中心市街地における「芸術文化ゾーン」の形成に向けた取組・本市をホームタウンとするトップスポーツの支援・「これが秋田だ！食と芸能大祭典」の開催・秋田港への大型クルーズ船誘致と受入体制の充実、外国人観光客の誘客・展示の工夫やイベントの開催など大森山動物園のにぎわいづくり |
|------|--|

【戦略3 未来につなぐ環境立市あきたの推進】

環境関連産業の創出による地域経済の活性化や、森林の整備などを進め、環境と経済の好循環による便利で活力のある暮らしの実現を目指すものです。また、市、事業者、市民が、環境への負荷の低減に協働で取り組み、持続可能な未来に向けた循環型社会の実現を図ろうとするものです。

| | |
|------|--|
| 主な取組 | <ul style="list-style-type: none">・「あきた次世代エネルギーパーク」として、市内の再生可能エネルギー施設の見学会を実施・脱炭素化に向けた森林整備と皆伐再造林の推進・太陽光発電システムや木質バイオマスストーブ等の導入補助・中小企業等が行う省エネ設備の導入等への補助・ごみの分別・減量・リサイクルについてのキャンペーンや情報発信、講座等の実施、資源集団回収実施団体への奨励金の交付・生ごみ堆肥化容器および電気式生ごみ処理機の購入費の助成 |
|------|--|

【戦略4 子どもを生き育てやすい社会づくり】

就労、出会い、結婚、出産、そして子育てと、ライフステージに合わせた施策を切れ目なく展開し、子どもを生き育てやすい社会を構築しようとするものです。

| | |
|------|--|
| 主な取組 | <ul style="list-style-type: none">・第1子および第2子以降の保育料の無償化・市内認可保育所等に就職する保育士・保育教諭を対象とした奨学金返還助成・妊娠期から子育て期までの総合的支援を提供する相談窓口（秋田市版ネウボラ）の整備・放課後の児童の遊びや交流の場となる児童館等の整備・20～39歳の独身男女を対象とした出会いの場の開催 |
|------|--|

【戦略5 いきいきと暮らせる健康長寿社会づくり】

健康寿命を延ばすとともに、エイジフレンドリーシティ（高齢者にやさしい都市）の実現、将来にわたり持続可能な公共交通の実現に取り組み、高齢者や障がい者、子育て中の親や子どもなど、誰もが安全安心に暮らせる健康長寿社会づくりを進めようとするものです。

| | |
|------|---|
| 主な取組 | <ul style="list-style-type: none">・月ごとの平均歩数等をチームで競う「歩くべあきた」の開催など、働く世代や高齢者の健康づくりに向けた取組・風しん抗体検査費・予防接種費の助成・エイジフレンドリーシティの実現に向けた取組の推進と普及啓発・65歳以上の方が1回100円で乗車できる高齢者コインバス事業の実施・高齢者の健康と生活を総合的に支援する地域包括支援センターへの生活支援コーディネーターや認知症地域支援推進員等の配置 |
|------|---|

人口減少社会について

問5 人口減少社会について

秋田市の人口は、2020年（令和2年）の307,672人から、30年後の2050年（令和32年）には、220,767人へと減少するものと推計されています（令和5年12月国立社会保障・人口問題研究所）。

① あなたが秋田市の少子化の要因として影響が大きいと思うものは何ですか。次の中から3つまで選び、番号に○をつけてください。

- 1 子育て費用や教育費などの経済的負担
- 2 非正規雇用など不安定な雇用環境や少ない収入
- 3 子育てと仕事の両立に対する職場の理解不足
- 4 子育てや家事への配偶者の協力不足
- 5 子どもを預けにくい環境（核家族化の進行や保育施設・サービスの不足など）
- 6 夫婦や個人の生活を大切にす価値観を持つ人の増加
- 7 晩婚化の進行や婚姻数の減少
- 8 男女の出会いの機会の減少
- 9 その他（)

② あなたは、今後も秋田市に住み続けたいと思いますか。次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

- 1 住み続けたい
- 2 事情が許せば、住み続けたい
- 3 市外（大都市圏）で暮らしたい
- 4 市外（大都市圏以外）で暮らしたい
- 5 市外で暮らしたいが、いずれは秋田市に戻りたい
- 6 どちらともいえない
- 7 その他（)

③ あなたやあなたの家族が秋田市に住み続けるために必要だと思うことは何ですか。次の中から3つまで選び、それぞれの項目の実現のために必要だと思うことを自由にお書きください。

- 1 雇用の場の確保
- 2 非正規雇用など不安定な雇用の改善や収入の増加
- 3 市内における進学先の選択肢の充実
- 4 子育て支援の充実
- 5 まちのにぎわいの創出
- 6 若者にとって魅力のあるまちづくり
- 7 高齢者向けの福祉・介護サービスなどの充実
- 8 高齢者が地域社会でいきいきと活躍できる環境づくり
- 9 地域の絆づくりの推進
- 10 豊かな自然環境など現在の市の魅力の維持
- 11 特にない
- 12 その他 ()

(番号記入欄)

(自由記述欄：実現のために必要だと思うこと)

幸福感について

市の取組について、新たな観点での評価や需要の把握のため、市民の方が主観的に感じる「幸福」について、お伺いするものです。

問7 幸福感について

- ① あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸せ」を0点とすると、何点くらいになると感じますか。いずれかの点数を1つ選び、○をつけてください。

(とても不幸せ)  (とても幸せ)
点 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 点

- ② 次のうち、あなたの幸せにとって重要だと思うことはなんですか。5つまで選び、番号に○をつけてください。

- 1 十分な収入・消費があること
- 2 仕事があること、仕事が安定していること
- 3 仕事が充実していること
- 4 まちのにぎわいを感じられること
- 5 まちに芸術・文化・歴史の豊かさを感じられること
- 6 余暇が充実していること
- 7 豊かな自然が身近に感じられること
- 8 便利に移動・買い物できること
- 9 防災・防犯上の心配がないこと
- 10 地域コミュニティとの関係が良好であること
- 11 家族・友人関係が良好であること
- 12 子どもや孫の成長を見守れること
- 13 仕事と生活の調和がとれていること
- 14 心身が健康であること
- 15 必要なときに十分な医療・福祉が受けられること
- 16 生涯学習などを通じて学びの喜びを感じられること
- 17 市民活動などを通じて社会貢献していると感じられること

あなたご自身について

問9 最後に、あなたご自身のことについて伺います。それぞれ該当する番号に○をつけてください。

① あなたの性別は。

- 1 男 2 女 3 その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない）

② あなたの年齢は。（令和6年8月1日現在の年齢）

- 1 20歳未満 2 20歳～29歳 3 30歳～39歳 4 40歳～49歳
5 50歳～59歳 6 60歳～69歳 7 70歳以上

③ あなたは、結婚していますか。

- 1 未婚 2 配偶者あり 3 離死別

④ あなた自身にお子さんはいますか。

- 1 1人 2 2人 3 3人以上 4 いない

⑤ 同居している家族は。

- 1 単身 2 夫婦のみ 3 親子（2世代） 4 親・子・孫（3世代）
5 その他

⑥ あなたは、通算して何年くらい秋田市にお住まいですか。

- 1 5年未満 2 5年～9年 3 10年～19年 4 20年～29年
5 30年以上

⑦ あなたの出身地はどこですか。

- 1 秋田市内 2 秋田市以外の秋田県内 3 秋田県外

⑧ あなたの現在のお住まいは。（下記に○をつけてください）

| 中央地域 | 東部地域 | 西部地域 | 南部地域 | 北部地域 | 河辺地域 |
|---------|----------|-------|---------|---------|---------|
| 1 大町 | 16 東通 | 36 新屋 | 42 牛島東 | 55 寺内 | 71 岩見三内 |
| 2 旭北 | 17 手形 | 37 勝平 | 43 牛島西 | 56 外旭川 | 72 和田 |
| 3 旭南 | 18 手形(字) | 38 浜田 | 44 牛島南 | 57 土崎港中 | 73 豊島 |
| 4 川元 | 19 手形山 | 39 豊岩 | 45 卸町 | 央 | |
| 5 川尻 | 20 泉（JR線 | 40 下浜 | 46 大住 | 58 土崎港東 | 雄和地域 |
| 6 山王 | 東側) | 41 向浜 | 47 大住南 | 59 土崎港西 | 74 川添 |
| 7 高陽 | 21 旭川 | | 48 仁井田 | 60 土崎港南 | 75 種平 |
| 8 保戸野 | 22 新藤田 | | 49 御野場 | 61 土崎港北 | 76 戸米川 |
| 9 泉（JR線 | 23 濁川 | | 50 御所野 | 62 土崎港そ | 77 大正寺 |
| 西側) | 24 添川 | | 51 四ツ小屋 | その他 | |
| 10 千秋 | 25 山内 | | 52 上北手 | 63 将軍野東 | |
| 11 中通 | 26 仁別 | | 53 山手台 | 64 将軍野南 | |
| 12 南通 | 27 広面 | | 54 南ヶ丘 | 65 将軍野そ | |
| 13 櫓山 | 28 柳田 | | | その他 | |
| 14 茨島 | 29 横森 | | | 66 港北 | |
| 15 八橋 | 30 桜 | | | 67 飯島 | |
| | 31 桜ガ丘 | | | 68 金足 | |
| | 32 桜台 | | | 69 下新城 | |
| | 33 大平台 | | | 70 上新城 | |
| | 34 下北手 | | | | |
| | 35 太平 | | | | |

調査にご協力いただきありがとうございました。

調査結果は、来年度策定する新しい秋田市総合計画に反映していきます。

秋田市しあわせづくり市民意識調査Ⅴ調査結果報告書

令和6年12月発行

編集・発行

〒010-8560
秋田市山王一丁目1番1号
秋田市企画財政部企画調整課
TEL 018-888-5462
<http://www.city.akita.lg.jp>

集計・分析

〒100-6810
東京都千代田区大手町1-3-1
株式会社東京商工リサーチ
TEL 03-6910-3111
